



第 4 5 号
平成 19 年
8 月 8 日 発行

名医、良医、ただの医師

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 潤

私は、大学の医局時代から医学研究、医育者時代を経て現在の医院長に至るまでに長い医人生活を送ってきました。現在も患者を直接診療し、頼ってくる方々をはじめ、診療上問題となるような方などに直接たずさわっています。と言つても、私の出来る範囲、私がやらねばならない範囲にとどめ、必要があるときは、他の医師の力を借りたり、専門的な医療をお願いするようになっています。こういった関係から、患者のなかには、初診から今日まで、二十―三十年にも及んで、長いつきあいの方もありますし、急変時にのみ診察に見えられる方も少なくありません。

患者が一般に一人の医師に長い間頼りたがるのはどういうわけかと考えてみると、それは、自分をよく知っている医師にかかりたい、ことに信頼している医師を尋ねてゆくとする人情から出たことでもあります。このことは、多くの医師が等しく経験されているところでもあります。では、そのように自分を頼ってきた患者を引き受けた医師としてどうするか。やはり人間として大いに責任を覚えて、出来るだけ力をつくしてやりたいと思うの

が当然であり、また人情でもあります。しかし、医師である以上、病いを持つ人間を治す医師、すなわち、いわゆる良医（名医）たるべきであります。病いだけを治そうとする「ただの医師」であつてはならないのです。良医になるためには、まず、人間のもつ疾病を出来るだけ完全かつ正確に把握するのを原則としますが、その際、人間としての身体的および精神的条件とともに、環境をも充分考えて診療しなければなりません。

個人の持つ身体的条件としては年齢、性、体質、栄養状態など、精神的条件としては、知能、性格、人格などを考慮に入れる必要があります。また、環境としては、一方に患者の家族、周囲の人、社会的立場など人的環境があり、他方には、その職業、経済状態、住居、自然界などの物的環境があつて、これをよく知つて考えなければなりません。病いをもつ人間をこうしてみると、各人、千差万別であります。その正しい判断は個々人別々に行うべきで、それはけつして容易であるとはいえません。最近では医療も、診療所、病院で為されるばかりでなく福祉施設にも治療を要する方が多くいらつしやいます。

そこで福祉施設「望洋荘」で働く方々にお願いがあります。ここに住む方々は私たち職員の家族と同じです。何らかの病いを全ての方が持っています。如何に現状維持としての健康保持をするかの気配りをするに心がけなければなりません。各人に適った身体的、精神的、それに生活環境の改善を前向きに構築したいものです。良医にも劣らない良介護士をめざし入居者様から、「ただの介護士」といわれないようにしたいものです。

「花火大会」 望洋荘玄関前

八月十九日（日）午後七時より正面玄関前にて「花火大会」を開催致しました。施設での花火大会も二回目となりますが、今年は、多くのご家族にも参加いただき、入居者の皆様方とても嬉しそうです。また、ご家族様から花火や果物など差し入れも戴き、ありがとうございました。今年は、女子職員の多くが浴衣姿であった為、参加した皆様から盆踊りでもやるのかなと期待されていたようです。



「沼ノ内夏祭り見学」 豊間ユニット

八月十八日（土）夕方に昨年に引き続き「沼ノ内夏祭り」の見学に行ってきました。和太鼓の演奏を聴いたり、小中学生のヨサコイやじゃんがらを見たり、入居者様も自然と身体をリズムに合わせて踊られておりました。また出店では、自分の食べたい物をそれぞれ購入して食べられていました。



「夏祭り」 永崎ユニット

八月十一日（土）午後より永崎ユニットのバルコニーにて「夏祭り」を開催致しました。あまり外出する事が出来ない入居者様が多く、色々とイベントを考えて行なわれました。本物の金魚を使つての金魚すくい、大きなたらいを使つての足湯、スイカ割りなど、写真でもわかる様に、本当に楽しそうにいい表情でした。おやつには、カキ氷やスイカを美味しそうに召し上がり、皆様大満足でありました。

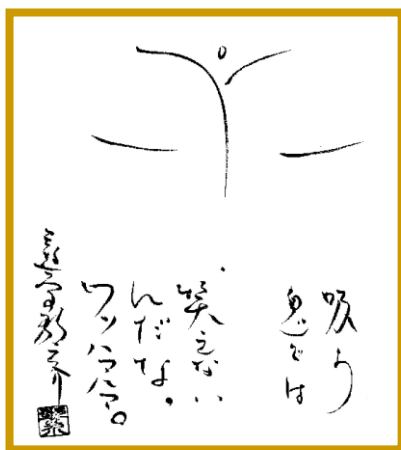


「いわき寄席」出演者の色紙集から・

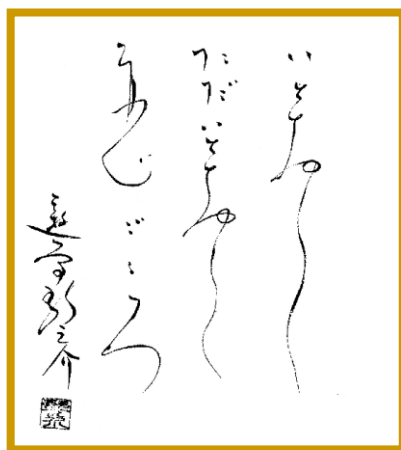
「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。

三遊亭 歌之介 師匠の作品です。

○第一九回記念いわき寄席 平成四年十月八日
(演目) 勘定板、芸人伝



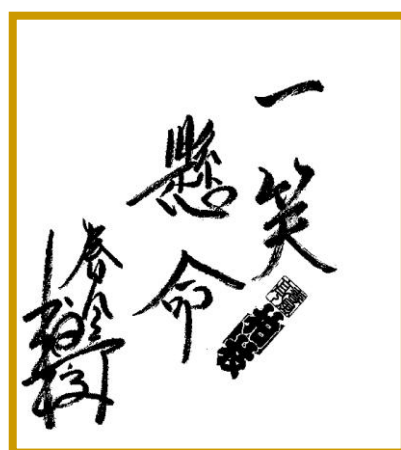
三遊亭 歌之介 師匠
(第19回いわき寄席 H4.10.8)
吸う息では
笑えないんだな。
ワッハアハア。



三遊亭 歌之介 師匠
(第19回いわき寄席 H4.10.8)
いと おしく
たいとおしく
恋ごろこ

春風亭 柏枝 師匠の作品です。

○第六八回記念いわき寄席 平成十三年五月二日
(演目) 錦明竹、ねずみ、お見立て



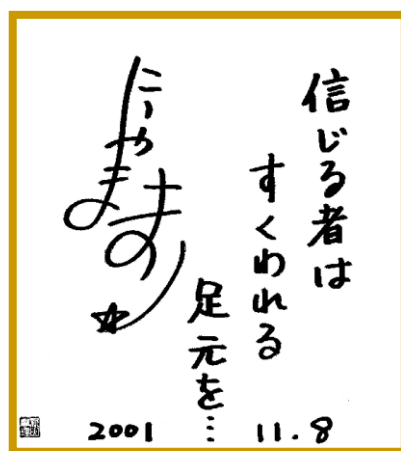
春風亭 柏枝 師匠
(第68回いわき寄席 H13.5.21)
一 笑 懸 命



春風亭 小柳枝 師匠
(第62回いわき寄席 H12.5.22)
らくご好き
笑がおにまざる
化粧なし

新山 真理 師匠の作品です。

○第七一回記念いわき寄席 平成十三年十一月八日
(演目) 色どり漫談



新山 真理 師匠
(第71回いわき寄席 H13.11.8)
信じる者は
すくわれる
足元を...



鏡味 正二郎 師匠
(第93回いわき寄席 H17.10.12)
曲 芸

春風亭 小柳枝 師匠の作品です。

○第六二回記念いわき寄席 平成十二年五月二日
(演目) 青菜、井戸の茶碗、妾馬

鏡味 正二郎 師匠の作品です。

○第九三回記念いわき寄席 平成十七年十月十二日
(演目) 太神楽

「七夕見学」 平本町通り

八月六日（月）午後二時より、豊間ユニットの入居者様が平本町通りの七夕見学に行つて来ました。午後二時という時間で、人通りも多く、気温も高く、入居者様にはちよつときつかった感じがしましたが、入居者様からは、久しぶりの商店街に「ここら辺も昔に較べ変わったね」「七夕飾りが綺麗だね」などと言話は、生きたままに楽しめました。途中で力キ氷で涼み七夕を大いに楽しめました。

同じく翌々八月八日（水）午前十時より薄磯ユニットの入居者様も七夕見学に行かれました。前回の見学に比べ過ごしやすいく気温でした。当日、ご家族様と現地で待ち合わせする事になっており、一緒に見学する事が出来ました。入居者様の中には、以前この商店街で働いていた方もおられ、そのお店の前で、店員さんと久しぶりの再会にお互い懐かしがる場面もありました。また、スイカの差し入れまでいただき有難うございました。皆様、七夕飾りや出店などを楽しそうに見学されていきました。



九月の行事予定

九月十七日（敬老の日）午後十一時三〇分「第四回 望洋荘まつり」

場所 望洋荘多目的ホール 塩屋岬店場

内容 プログラム

1. 開会宣言 4. 余興

2. 理事長挨拶 和太鼓 じゃんがら等

3. 来賓者祝辞 挨拶 5. 閉会宣言

◎ バザーコーナー

◎ 模擬店コーナー

焼きそば 綿あめ

豚汁（家族会） あんまん 肉まん

フランクフルト 焼き鳥：等

【九月のお誕生会予定】

九月一日（水）午前十時 サタ子様（九一歳）誕生会

九月五日（水）午後二時三〇分 マサ子様（八七歳）誕生会

九月十日（月）午後二時三〇分 孝雄様（六七歳）誕生会

九月十五日（土）午前十時 イク様（八九歳）誕生会

九月十五日（土）午前十時 伸平様（八四歳）誕生会

九月二十五日（火）午前十時 大槻様（九二歳）誕生会

九月二十五日（火）午前十時 大槻様（九二歳）誕生会

編集後記

『望洋荘』便り

平成十九年八月三十一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 望洋荘

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373

FAX (0246) 55-7255